教科シラバス							
◆教科	総合応用技術	◆科目	エステティック学Ⅱ	◆科目コード	60707	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（前期）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師（実務経験あり）	◆授業の回数	3h×60
◆受講対象者	エステティックコース選択者						
◆授業の目的と概要	エステティックトリートメントの基礎を理解し、フェイシャル機器理論・技術を身につける。 解剖生理学を理解し、正しく安全に機器を操作できる。 ※担当教員はエステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、エステティシャンとして10年以上のキャリアを持つ。 ※ 保有資格 / AJESTHE認定講師・CIDESCOインターナショナル						
◆到達目標	フェイシャルエステティックを通し、各マッサージや目的や効果・テクニックを学びトリートメント方法を習得する。 コンサルテーションを理解しスムーズに実践できる様にする。						

回数	授業内容①	授業内容②	授業内容③	使用教材		備考
1		低周波（EMS）②後面	全身の筋肉の名称と位置を理解する			
2		低周波（EMS）③後面	全身の筋肉の名称と位置を理解し、的確な位置にパッドを貼る			
3		低周波（EMS）④後面	目的に合わせてパッドを貼れる様にする/ 起始・停止の理解			
4		低周波（EMS）・デモンストレーション①前面				
5		低周波（EMS）②前面	全身の筋肉の名称と位置を理解する			
6		低周波（EMS）③前面				
7		低周波（EMS）④前面	目的に合わせてパッドを貼れる様にする/ 起始・停止の理解			
8		低周波（EMS）＋マッサージ①	目的に合わせてEMSを行う			
9		低周波（EMS）＋マッサージ②				
10		低周波（EMS）＋マッサージ③＋コンサルテーション含む	目的をたてスムーズにEMSを行う 確認テスト			
11	学科	エステティック概論 / エステティックの定義	美とは何かを理解し、ソワンとメディカルエステの違い			
12	解剖生理学	骨と筋肉（役割・機能・構造）	顔の骨・筋肉について学ぶ			
13		循環器系の役割	血液・血管の構造・機能・役割を覚える			
14		循環器系 / リンパの役割・働き①P108~109	リンパ系について（構造・機能・循環・浮腫みについて）			
15		循環器系 / リンパの役割・働き②P111~112	図で確認させる / 顔のリンパ循環			
16	皮膚科学	毛孔詰まりの特徴・要因	毛孔詰まりの原因を学び、トリートメントの組み立てに繋げる			
17		ディープクレンジングの選択・目的①	ディープクレンジングの種類・目的効果・使用化粧品について学ぶ			
18		ディープクレンジングの選択・目的②	酵素・粒子あり・粒子なし・ブラシクレンジング			
19		ディープクレンジングの選択・目的③	ディスインクラステーション			
20		色素沈着	原因とケア方法			
21		シワ・タルミ（老化肌）	原因とケア方法			
22		水分不足・乾燥肌	原因とケア方法			
23		顔の循環について / むくみ	原因とケア方法			
24		肌分析について①	肌の分析方法を学ぶ			
25		肌分析について②	肌分析をし肌タイプに合わせたトリートメントプランを立てる			
26		ニキビとホルモンの関わり	肌分析をし肌タイプに合わせたトリートメントプランを立てる			
27		肌トラブルについて・確認テスト	確認テスト			
28	機器学科	電気機器と原理	エステティックで使用する電気機器の種類と原理の理解			
29		電気機器の活用方法・禁忌・注意事項・事項	機器の目的と効果の理解			
30		イオントフォレーゼ / 1年次の復習	機器の目的と効果の理解/ 肌タイプに合わせた目的と効果			
31		ディスインクラステーション	ディープクレンジングの目的・機器の原理			
32		高周波①	原理・目的と効果 / 取り扱い			
33		高周波②	直接法 / 時間と効果の違い			
34		高周波③	間接法 / トリートメントの組み合わせ方			
35		フェイシャル低周波機器①	目的と効果・パット方法			
36		フェイシャル低周波機器②/ 筋肉の理解	低周波機器とトリートメントの組み合わせ			
37	解剖生理学	解剖生理学・機器学科確認テスト	確認テスト			
38	化粧品学	化粧品学①	使用化粧品について学ぶ			
39		化粧品学②	化粧品の成分と効果			
40	栄養学	栄養素の基礎知識	栄養素と健康の関係を知る。ホームケアアドバイスに繋げる			
41	公衆衛生/衛生管理	サロンでの消毒・衛生①	手指の衛生消毒の重要性			
42		サロンでの消毒・衛生②	機器・試用器具の消毒方法・			
43	カウンセリング	エステティックカウンセリング①	エステティックカウンセラーの役割			
44		エステティックカウンセリング②	ストレスが及ぼす美容上への影響と『ホメオスタシス』			
45		エステティックカウンセリング③	心のメカニズムと顧客心理・ホームケアアドバイス			
46		フェイシャルカウンセリング	肌分析を確実にする			
47	実技/Facial	肌分析 / スキンチェック①	コンサルテーション記入方法			
48		肌分析 / スキンチェック②	肌分析・拡大鏡を使用			
49		肌分析 / スキンチェック③	トラブルを見極める・トリートメントの選択			
50		高周波機器 / 直接法① デモンストレーション	高周波直接法の使用方法・目的効果			
51		高周波機器 / 直接法②	原理・目的と効果 / 取り扱い			
52		高周波 / スパーク法（閃光法）①デモンストレーション	高周波閃光法の使用方法・目的効果			
53		高周波 / スパーク法（閃光法）②	禁忌事項・ニキビ肌の段階別ケア			

54		高周波 / 間接法①デモンストレーション	高周波間接法の使用方法・目的効果			
55		高周波 / 間接法②	禁忌事項・乾燥肌のケア			
56		フェイシャル低周波①デモンストレーション	原理・目的と効果 / 取り扱い			
57		フェイシャル低周波②	禁忌事項・タルミのケア			
58		肌分析～デープクレンジングの選択①	コンサルテーションをスムーズに行いディープクレンジングの選択			
59		肌分析～デープクレンジングの選択②				
60		肌分析～デープクレンジングの選択③	肌タイプをしっかりと見極めて提案			

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。